

資料 3

産業の振興

岡山市ブランドの構築（商工）

現 状

- 生産構造（資料①・②）
 - ・平成27年の年間商品販売額：「卸売業」約2兆3,099億円／最大割合「飲食料品卸売業」約28％／次いで「機械器具卸売業」約27％／「小売業」約8,842億円／最大割合「その他の小売業」約29％／次いで「飲食料品小売業」約26％
 - ・平成27年の製造品出荷額：約1兆68億円／最大割合「食料品製造業」約14％／次いで「生産用機械器具製造業」約12％
 - ・市内総生産：最大産業「卸売・小売業」約43百億円、市全体の約15％／次いで「製造業」約41百億円、市全体の約14％
- 有効求人倍率（資料③）
 - ・ハローワーク岡山（北区、中区、南区、吉備中央町の一部）：平成28年9月に2倍超え（2.05）／平成31年1月が2.47と最高、以降2倍を超えて推移／令和2年4月が1.92、同年5月が1.55と下降
- 新卒者の県外転出（資料④・⑤）
 - ・市内大学生の県内就職率：平成26年度から平成30年度の5年間は40％超
 - ・県出身の大学生の県内就職率：平成29年度から平成30年度は40％前後
- 後継者（資料⑥）
 - ・「岡山県」の後継者不在率は6割超／社長年齢が「60歳以上」の企業では39.4％が後継者不在
- オフィスビルの現状（資料⑦）
 - ・市内中心部の空室状況：平成28年3月時点の20棟43室から減少傾向／令和2年4月時点では18棟26室／既存オフィスビルの老朽化
- 物流拠点（資料⑧）
 - ・岡山県内に集積する営業倉庫の面積（運輸局申請登録面積）は中四国最大／県内では岡山市が最大
- 企業用地（資料⑨）
 - ・平成28年5月、空港南産業団地整備着手／令和元年5月、団地整備完了／令和元年8月、立地企業3社決定（3社とも令和元年中に土地の売買契約締結後3年以内の操業を予定）
- 新型コロナウイルス感染症の影響（資料⑩）
 - ・岡山市HPIによるWEBアンケート結果：今年4月の売上が昨年同期と比較して20％以上減少割合は約87％／うち50％以上減少している割合は約66％
 - ・セーフティネット申請件数（令和2年7月16日時点）：5,376件

課 題

- 新型コロナウイルスの影響：縮小した経済の回復、先行き不透明な中での長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化への対応
- 人口減少、少子高齢化の加速による労働力不足、経営者の高齢化・後継者問題
- 技術革新に対応しIoTやAI等の先進技術を担う技術者不足の解消
- 工場、研究所等企業用地の確保
- 企業立地動向やオフィス需要の変化への対応

岡山市の優位性

- 中四国のゲートウェイ
- 物流拠点の集積（営業倉庫の面積は中四国最大規模）
- スタートアップ拠点の認知度の高さ
- 自然災害の少ない地域性

施策の方向性

新たな産業の構築

- 創業・起業支援及びサポート強化
- Society5.0を実現に向けたICT企業の積極的な誘致
- オープンイノベーションによる知の集積
- 高度情報化や新しい働き方等に対応したオフィス空間の整備支援

地域経済を支える基盤の強化

- 本社・中四国拠点・工場・研究拠点等の誘致、再投資支援
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるサプライチェーンの再構築、国内回帰等の中小企業支援
- 「新しい生活様式」に対応したテレワークやリモートワーク等の企業経営への支援
- 生産性の向上
- 中小企業の人材確保・育成を支援
- 中小企業の事業承継
- 多様な人材が活躍できる環境づくりの支援
- 地域未来投資促進法等を活用した企業立地の推進
- 移住定住と連携した企業誘致の推進

地元企業の「挑戦」を支援

- IoT・AI等の活用や先端設備導入支援による省力化・効率化の促進
- 海外・首都圏への事業展開支援
- デジタル人材の確保・育成支援
- 商工業者の新たな顧客開拓支援
- 産官学連携支援

岡山市ブランドの構築（観光）

現 状

○観光客の宿泊・滞在（資料①）

交通の利便性の高さや地域資源を観光客の宿泊・滞在に十分活かされていない。

○岡山城・岡山後楽園以外の観光地の認知度が低い（資料②）

本市は数多くの歴史・文化資源を有しているが、岡山城・岡山後楽園に比べ、吉備路をはじめとした他の観光地の入込客数は伸び悩んでいる。

○岡山市の魅力が伝わっていない（資料③）

全国への情報発信により誘客を図っているが、観光地としての全国的な知名度が低く、全国に魅力が十分に伝えることができておらず、さらに豪雨災害等の外部要因等の影響もあり実宿泊数は減少している。

○新型コロナウイルス感染症（資料④⑤）

新型コロナウイルスの影響により観光客数は大幅に減少。

新型コロナウイルスの影響で進んだオンライン化等により、MICEの先行きが不透明。

課 題

○新たな生活様式に対応しつつ、持続的な観光需要の拡大のためのニーズに応じた魅力の向上

⇒観光資源の磨きなおしや観光人材の育成。

○戦略的なプロモーションの実施による観光地としての認知度向上

○MICEの開催件数、参加者数及び経済効果の向上。

岡山市の優位性

○吉備路や岡山城・後楽園などの豊富な
歴史・文化遺産

○全国的に浸透している桃太郎のイメージ

○利便性の高さ（中四
国における交通のゲート
ウェイ）

○桃やブドウな
どのフルーツに
代表される食
資源

施策の方向性

観光コンテ
ンツの魅力
向上

テーマやス
トーリー性を
持たせた観
光ルートの
確立

地域の歴
史・文化資
源を活用し
た情報発信

回復フェー
ズにあわせ
たインバウ
ンド対策の
実施

戦略的な
MICE誘致と
参加者の消
費活動喚起

豊富な食資
源を活かし
たコンテンツ
作りとPR

○岡山城と岡山後楽園の一体感の醸成・磨き
上げ
○日本遺産の積極的な活用（核となる造山古
墳ビジターセンターの活用）
○桃太郎のまち岡山シティプロモーションの実施

○ベース宿泊
地としての情
報発信

○誘致対象
の多様化
○インセン
ティブの付与

○新しい食の
コンテンツ開発
○首都圏等
でのPR

岡山市ブランドの構築（農林）

現 状

○主な品目（資料①②）

- ・農業産出額は約230億円で、米・麦で約4割、次いで、野菜、果樹がそれぞれ約2割を占める。
- ・主な農作物は、水稻、麦のほか白桃やマスカット、ピオーネ等の果樹やなすや黄にら等の野菜、ブプレラム等の花きで、水産業では、のりが盛んである。
- ・都市ブランドのもも、ぶどうは、作付面積、出荷量が減少傾向にある。

○担い手等の状況（資料③④⑤）

- ・農家数は10,753戸（全国5位）と多いものの、農業所得が主な主業農家は710戸（64位）である
- ・高齢化が進んでおり、農業従事者における65歳以上の割合はH27年度で73.3%（全国平均76.2%）で、耕地面積、販売農家数も年々減少している。
- ・一戸当たりの経営耕地面積の平均は1.25haで、全国平均1.57ha（北海道をのぞく）を下回っており、副業的零細農家が多い状況である。
- ・担い手への農地集積率はH30年度で37.4%であり、全国平均（56.2%）よりもかなり低い水準である。
- ・新規就農者数は近年、毎年30人前後で推移している。

課 題

○岡山ブランドの育成と地産地消

- ・ブランド農産物のもも、ぶどうの産地の衰退が懸念され、高品質栽培を継承する後継者の育成が急務
- ・販売を担う系統（農協・全農）と更なる連携を図るとともに、系統外で販売力を磨く農業者の育成、支援が必要

○生産基盤の整備

- ・農家戸数が減少局面でも、担い手への集積が起こらない分析など、農地への意向調査（現状把握）が必要
- ・農業者の減少や高齢化に伴い、広大な農地とこれを支える多数の農業用施設を守っていくことが困難になりつつある

岡山市の優位性

○都市近郊農業を展開することができる

- ・市内に消費者が多い、また大消費地（大阪など）が近く、広域交通網も整備されているなど鮮度が求められる生鮮野菜、果物などの栽培に優位性がある。また、レストランやイベントなど直接的な販路確保が可能。

○新たに農業を始めるときの移住のハードルが低い

- ・温暖な気候で冬栽培も可能、災害も少ない、ぶどう、ももが有名というイメージに加え、都市的な環境を有しており、生活に不便な環境で営農しなくてもよいというイメージから、移住候補地として優位性がある

○南部に広大な干拓地、北部に知名度が高い、もも、ぶどうを産地とした丘陵地帯を有している

- ・農地集積が進めば、南部においては大規模経営体による安定的な水田経営の発展が望める
- ・高品質果物の栽培技術を有しており、他都市に比べ、ブランディングの優位性がある。

施策の方向性

果樹ブランドイメージの推進

- ・ぶどうや桃の販路開拓・拡大
- ・冬の果樹である「いちご」の育成

意欲ある担い手への支援

- ・補助事業導入による生産コスト低減等
- ・販促支援

地産地消を喚起する仕組づくり

- ・飲食店と生産者のマッチング
- ・岡山市産米（業務向け等）の推進
- ・6次産業化の推進など

農用地の集積・集約化

- ・農地意向調査
- ・農地の電子データ化

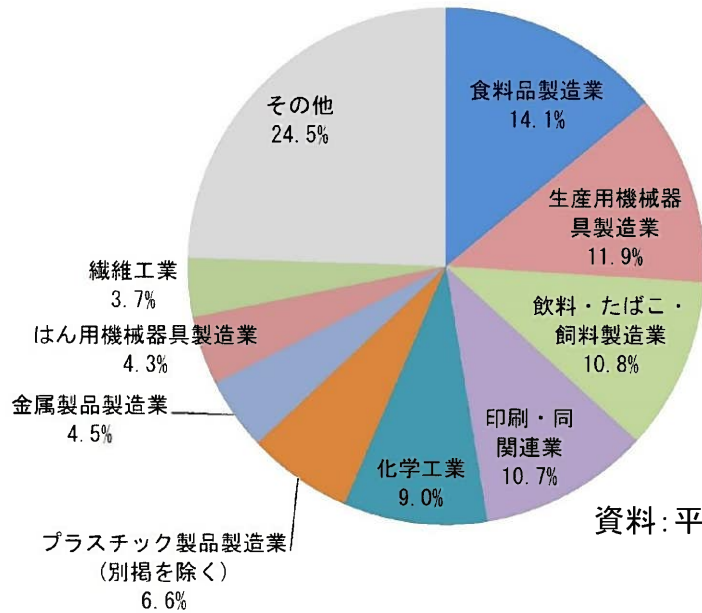
参考データ

【岡山市の産業の概況】

- 資料① 生産構造（製造品出荷額、年間商品販売額の状況）
- 資料② 生産構造（市内総生産）
- 資料③ 有効求人倍率（求人倍率の推移（求職者数、求人数））
- 資料④ 新卒者の県外転出（市内大学生の県内就職率の推移）
- 資料⑤ 新卒者の県外転出（岡山県へのUターン就職の状況）
- 資料⑥ 後継者
- 資料⑦ オフィスビルの現状（岡山市内オフィスビルの空室状況一覧）
- 資料⑧ 物流拠点（倉庫・物流の推移）
- 資料⑨ 企業用地（空港南産業団地について）
- 資料⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（企業活動等への影響調査）

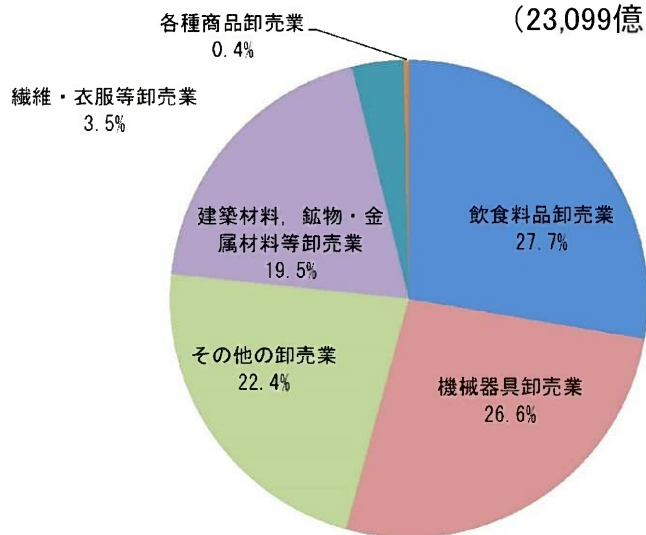
資料① 生産構造（製造品出荷額、年間商品販売額の状況）

製造品出荷額等の産業分類別内訳
(10,068億円)

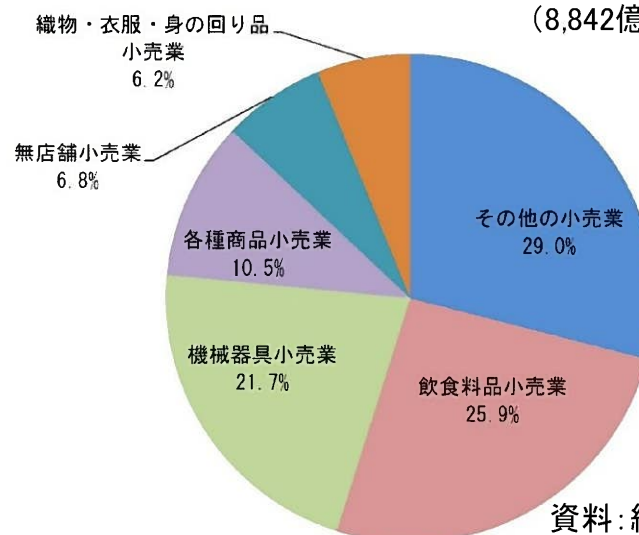


資料：平成30年工業統計調査

年間商品販売額の分類別内訳（卸売業）
(23,099億円)

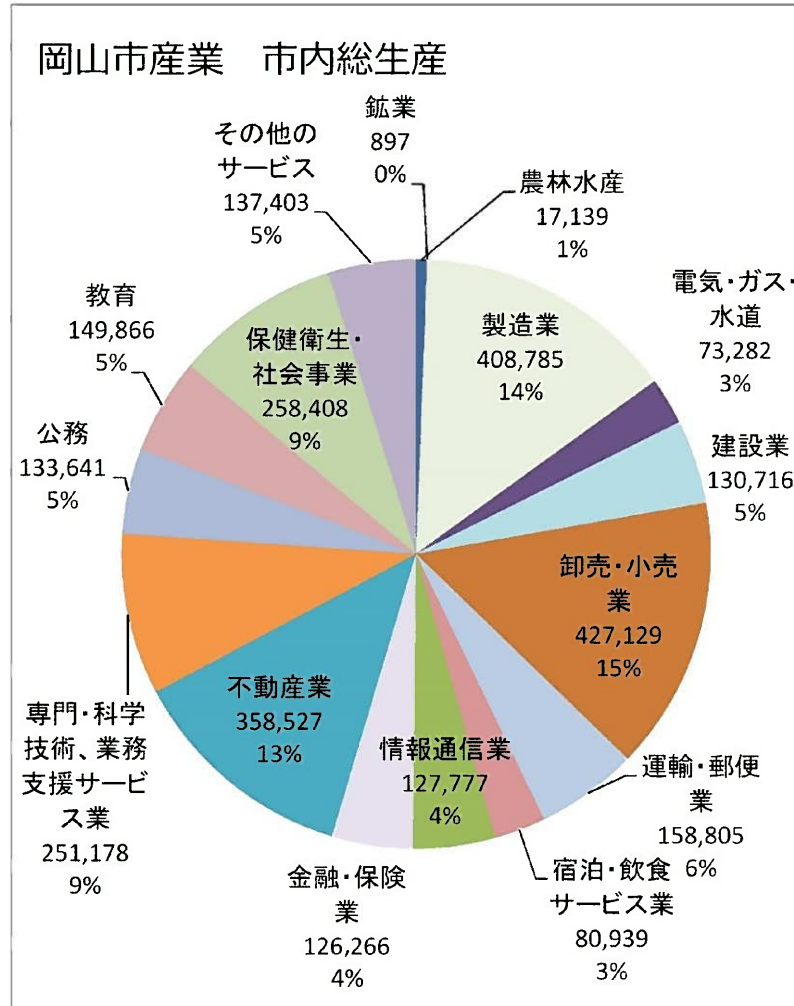


年間商品販売額の分類別内訳（小売業）
(8,842億円)



資料：総務省「経済センサス(H28)」

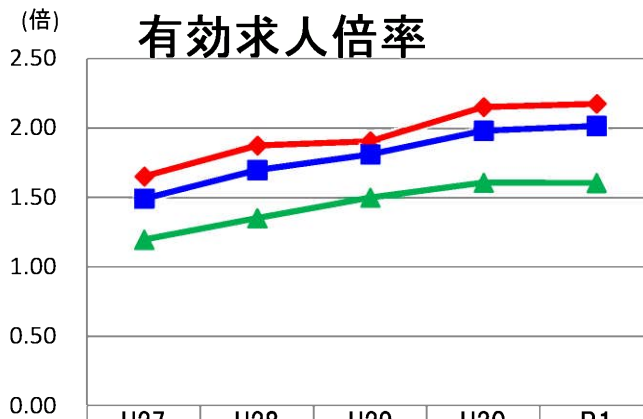
資料② 生産構造（市内総生産）



単位：百万円

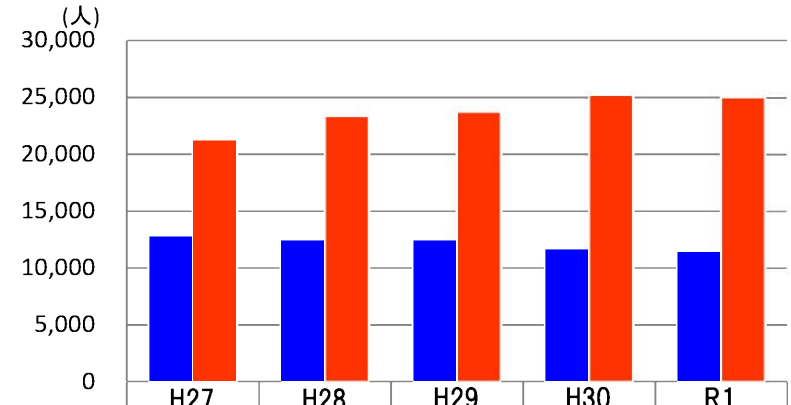
(資料)平成29年度岡山市市民経済計算

資料③ 有効求人倍率（求人倍率の推移（求職者数、求人数））



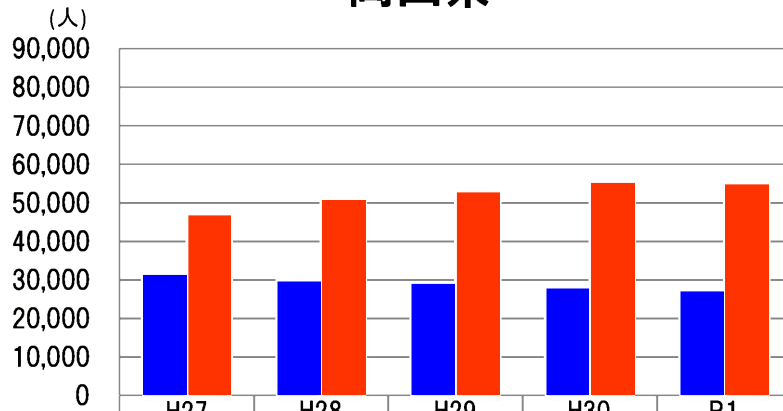
	H27	H28	H29	H30	R1
岡山・西大寺管内(倍)	1.66	1.88	1.91	2.16	2.18
岡山県(倍)	1.50	1.70	1.81	1.99	2.02
全国(倍)	1.20	1.36	1.50	1.61	1.61

岡山・西大寺管内



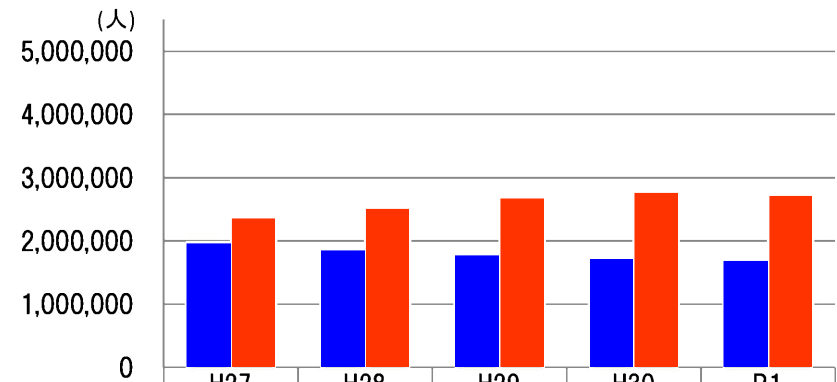
	H27	H28	H29	H30	R1
有効求職者数(人)	12,883	12,445	12,466	11,717	11,498
有効求人数(人)	21,329	23,399	23,794	25,264	25,053

岡山県



	H27	H28	H29	H30	R1
有効求職者数(人)	31,551	30,004	29,312	27,975	27,273
有効求人数(人)	47,190	51,044	53,176	55,559	55,177

全国

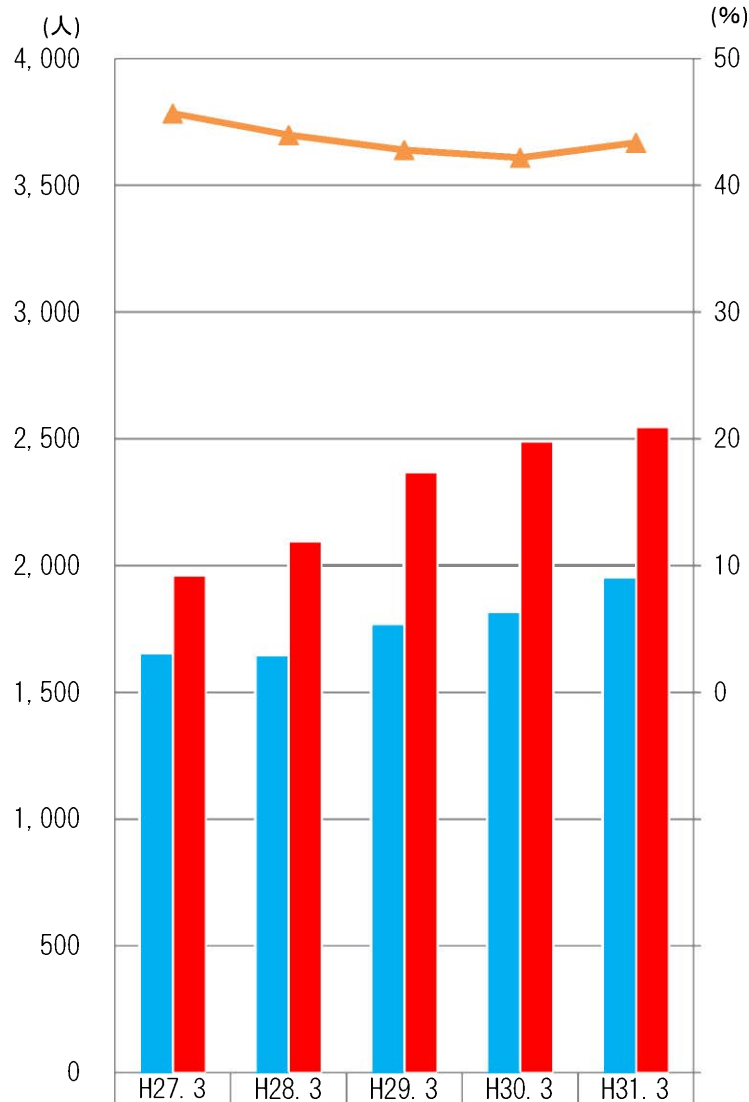


	H27	H28	H29	H30	R1
有効求職者数(人)	1,978,656	1,865,426	1,790,317	1,723,358	1,692,355
有効求人数(人)	2,375,680	2,530,425	2,691,883	2,778,218	2,731,906

※雇用情勢(岡山労働局職業安定課、岡山公共職業安定所、ハローワーク西大寺)、一般職業紹介状況(職業安定業務統計)を加工して作成

資料④ 新卒者の県外転出（市内大学生の県内就職率の推移）

市内8大学就職者数推移



■ 県内就職者数(人)	1,654	1,648	1,771	1,817	1,954
■ 県外就職者数(人)	1,963	2,096	2,370	2,491	2,547
▲ 県内就職率(%)	45.7	44.0	42.8	42.2	43.4

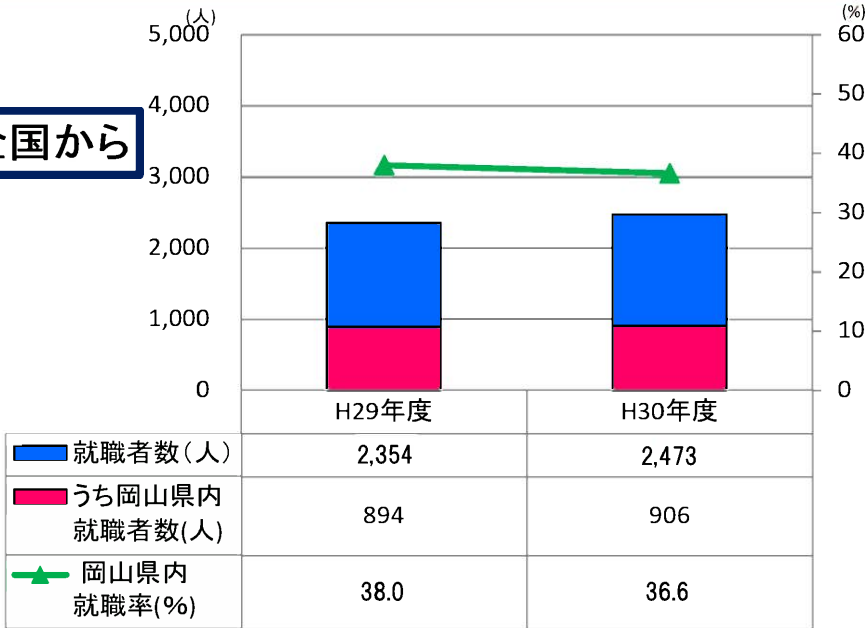
各大学内訳

		H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3
岡山大学	県内就職者数(人)	521	487	451	414	462
	県外就職者数(人)	728	848	808	915	861
	県内就職率(%)	41.7	36.5	35.8	31.2	34.9
ノートルダム 清心女子大学	県内就職者数(人)	389	397	396	403	396
	県外就職者数(人)	148	121	134	126	134
	県内就職率(%)	72.4	76.6	74.7	76.2	74.7
岡山商科大学	県内就職者数(人)	100	118	104	92	157
	県外就職者数(人)	102	110	158	108	169
	県内就職率(%)	49.5	51.8	39.7	46.0	48.2
岡山理科大学	県内就職者数(人)	314	290	332	315	305
	県外就職者数(人)	847	842	804	789	711
	県内就職率(%)	27.0	25.6	29.2	28.5	30.0
就実大学	県内就職者数(人)	265	287	315	332	321
	県外就職者数(人)	101	117	90	161	173
	県内就職率(%)	72.4	71.0	77.8	67.3	65.0
山陽学園大学	県内就職者数(人)	65	69	78	69	79
	県外就職者数(人)	37	58	42	51	36
	県内就職率(%)	63.7	54.3	65.0	57.5	68.7
中国学園大学	県内就職者数(人)	68	77	88	92	108
	県外就職者数(人)	30	25	28	42	61
	県内就職率(%)	69.4	75.5	75.9	68.7	63.9
IPU 環太平洋大学	県内就職者数(人)			95	100	126
	県外就職者数(人)	集計なし		334	299	402
	県内就職率(%)			22.1	25.1	23.9

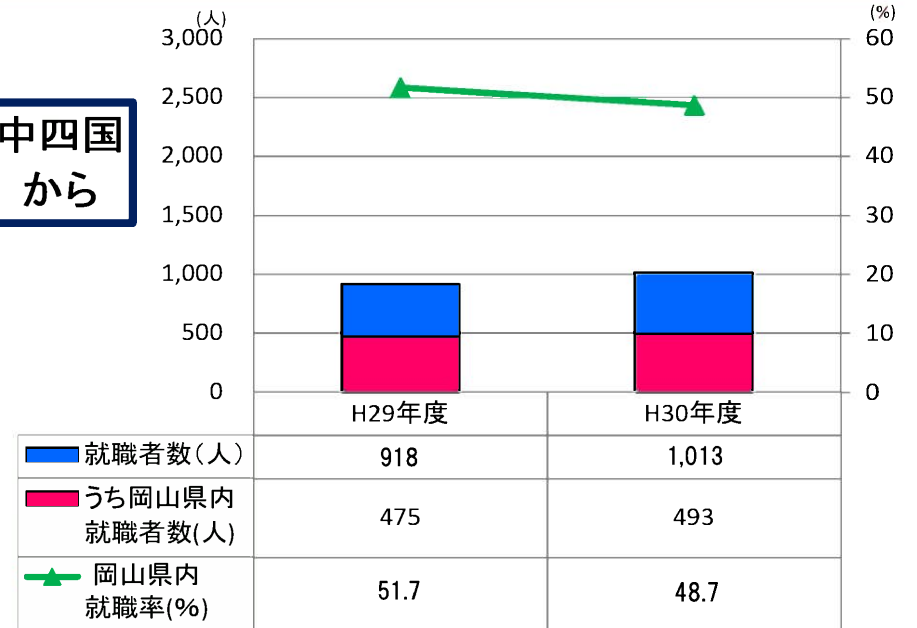
※出典：卒業生の出身地及び就職地に関する調査（岡山市）

資料⑤ 新卒者の県外転出（岡山県へのUターン就職の状況）

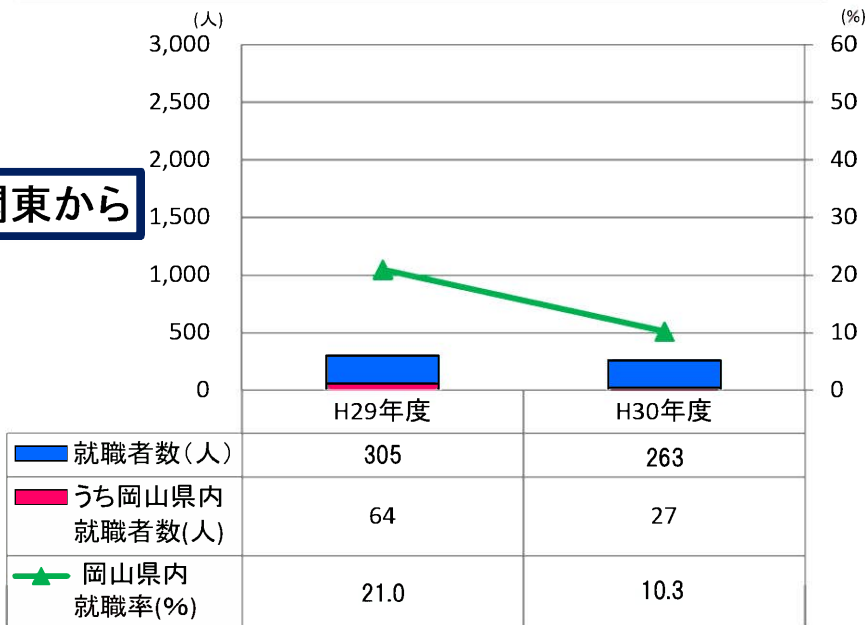
全国から



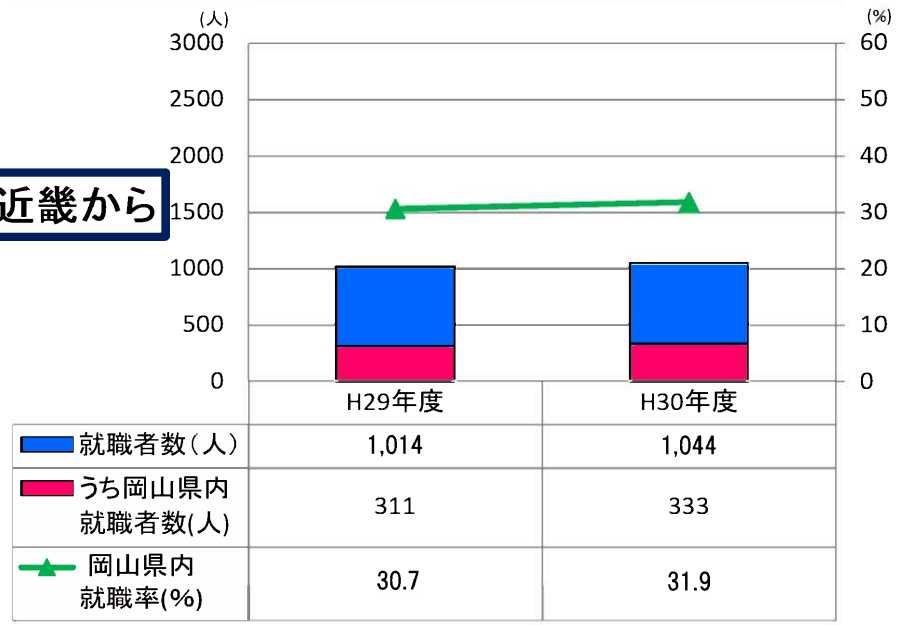
中四国から



関東から



近畿から



岡山県労働雇用政策課調べ

※249大学を対象に調査し、H30年度卒は167校から回答。H29年度卒は175校から回答。

資料⑥ 後継者

業種	後継者あり (社数)	後継者不在 (社数)	後継者 不在率	前回比 (%)	後継者不在率			
					2018年	2017年	2016年	2014年
建設業	250	550	68.8%	▲ 0.6	69.3%	69.7%	68.2%	65.4%
製造業	367	482	56.8%	▲ 0.5	57.3%	55.4%	55.9%	56.8%
卸売業	300	431	59.0%	▲ 0.6	59.6%	59.6%	59.3%	59.9%
小売業	162	249	60.6%	1.0	59.6%	61.2%	65.1%	68.1%
運輸・通信業	109	166	60.4%	▲ 1.4	61.8%	64.7%	65.3%	61.0%
サービス業	211	369	63.6%	▲ 1.5	65.2%	65.0%	64.8%	66.8%
不動産業	27	53	66.3%	0.2	66.0%	63.6%	63.9%	68.8%
その他	23	43	65.2%	▲ 0.0	65.2%	65.0%	54.4%	52.8%
合計	1,449	2,343	61.8%	▲ 0.7	62.4%	62.5%	62.3%	62.9%

※前回比(%)は小数点第2位を四捨五入

社長年齢	後継者あり (社数)	後継者不在 (社数)	後継者 不在率	前回比 (%)	後継者不在率			
					2018年	2017年	2016年	2014年
30歳未満	0	11	100.0%	0.0	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
30歳代	20	209	91.3%	1.6	89.6%	91.7%	93.6%	92.9%
40歳代	149	744	83.3%	▲ 2.4	85.7%	85.9%	86.9%	85.4%
50歳代	305	607	66.6%	▲ 1.4	68.0%	69.3%	69.4%	70.1%
60歳代	555	405	42.2%	▲ 4.8	46.9%	47.3%	49.6%	48.4%
70歳代	283	165	36.8%	0.2	36.6%	35.5%	36.1%	40.7%
80歳以上	57	13	18.6%	▲ 5.9	24.5%	30.3%	33.3%	32.0%

※社長の年齢が判明した企業が対象(2019年は3523社、2018年は3882社、2017年は5129社、2016年は4247社、2014年は3985社)

※前回比(%)は小数点第2位を四捨五入

※「60歳以上」の後継者不足 $39.4\% = 583 / 1,478 \times 100$
 (60歳代から80歳以上の社数合計:1,478社 60歳代から80歳以上の後継者不在合計:583社)

(資料)株式会社帝国データバンク 岡山支店 岡山県 後継者問題に関する企業の実態調査 (2019年)

資料⑦ オフィスビルの現状（岡山市内オフィスビルの空室状況一覧）

平成28年3月時点の空室状況

20棟43室

番号	ビル名	住所	竣工	空室状況
1	アーバンオフィスビル	北区下石井1-1-1	1981年3月	1
2	岡山フコク生命駅前ビル	北区駅元町1-6	2002年3月	1
3	第一セントラルビル	北区本町6-36	1978年11月	1
4	岡山駅前ビル	北区錦町1-1	1975年6月	5
5	明治安田生命岡山桑田町ビル	北区桑田町18-28	1985年2月	2
6	住友生命岡山ビル	北区柳町1-1-1	1977年10月	4
7	太陽生命岡山柳町ビル	北区柳町1-1-27	1987年5月	1
8	岡山柳町ビル	北区柳町1-12-1	1989年3月	3
9	朝日生命岡山柳町ビル	北区柳町2-6-25	1987年10月	3
10	淳風会健康管理センター北館	北区大供2-2-5	1990年5月	1
11	KSB会館	北区大供3-1-18	1984年3月	4
12	岡山奉還町RGB	北区奉還町1-9-8	1991年8月	2
13	岡山磨屋町ビル	北区磨屋町1-6	1965年6月	1
14	岡山大同生命ビル	北区蕃山町9-19	1973年7月	2
15	太陽生命岡山ビル	北区中山下1-2-3	1978年12月	1
16	両備蕃山町ビル	北区蕃山町3-7	1975年9月	1
17	磨屋町ビル	北区磨屋町10-20	1987年9月	1
18	新岡山ビルディング	北区中山下1-9-40	1975年9月	8
19	JTB岡山ビル	北区表町1-7-36	1974年4月	1
20	岡山シンフォニービル	北区表町1-5-1	1991年9月	1

20棟 合計 43 室

令和2年4月時点の空室状況

18棟26室

番号	ビル名	住所	竣工	空室状況
1	磨屋町ビル	北区磨屋町10-20	1987年9月	1
2	岡山磨屋町ビル	北区磨屋町1-6	1965年6月	2
3	KSB会館	北区大供3-1-18	1984年3月	2
4	イトーピア岡山本町ビル	北区本町3-13	1991年6月	1
5	新岡山ビルディング	北区中山下1-9-40	1975年9月 ※耐震診断済み	1
6	ORIX岡山下石井ビル	北区下石井2-1-18	2009年7月	3
7	岡山駅前ビル	北区錦町1-1	1975年6月	1
8	住友生命岡山ビル	北区柳町1-1-1	1977年11月	3
9	住友生命岡山青江ビル	北区青江1-1-8	1983年10月	1
10	JTB岡山ビル	北区表町1-7-36	1974年4月	2
11	朝日生命岡山柳町ビル	北区柳町2-6-25	1987年10月	1
12	JR岡山駅第二NKビル	北区駅前町2-5-24	1994年3月	1
13	NTTクレド岡山ビル	北区中山下1-8-45	1999年2月	1
14	岡山シンフォニービル	北区表町1-5-1	1991年9月	1
15	住友生命岡山ニューシティビル	北区磨屋町3-10	1990年2月	2
16	ニッセイ岡山スクエアビル	北区下石井2-2-5	1997年12月	1
17	日本生命岡山第二ビル新館	北区下石井1-1-3	1987年3月	1
18	岡山フコク生命駅前ビル	北区駅元町1-6	2002年3月	1

18棟 合計 26 室

（岡山市独自調査）

資料⑧ 物流拠点（倉庫・物流の推移）

物流業の現状

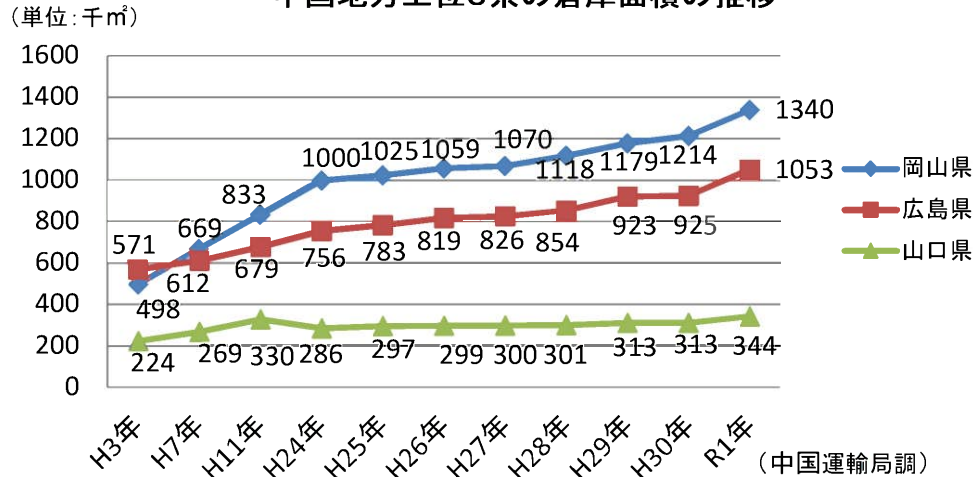
- 岡山は交通利便性に優れ災害リスクが低いことから、中四国地方で倉庫面積が最も大きく、中四国における物流拠点となっている。
- 昨今の物流業界では、業務効率化やドライバーの働き方改革のため、散在する物流施設を集約・拠点化し、大型物流施設を新設する動きが全国的に強い。

中四国、西日本の交通結節点に位置する岡山市は物流拠点の立地場所として需要が高い

倉庫面積の推移

- 岡山県内に集積する営業倉庫の面積は中四国最大規模。岡山の面積は増加傾向にある。

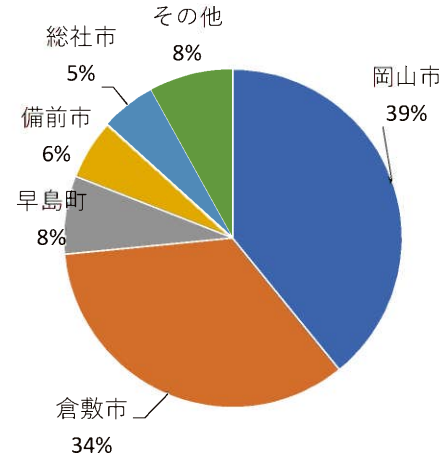
中国地方上位3県の倉庫面積の推移



【参考】S63年：瀬戸大橋開通、H15年：瀬戸大橋の道路通行料を値下げ

岡山県内の市町村別倉庫面積について

営業所の所在地別



市町村	面積(㎡)	割合
岡山市	469,575	39.1%
倉敷市	411,797	34.3%
早島町	89,966	7.5%
備前市	69,446	5.8%
総社市	63,054	5.3%
その他	96,006	8.0%
合計	1,199,844	100.00

令和元年6月時点 中国運輸局

岡山市の状況

高速道路IC周辺、物流軸沿道など、市街化調整区域における民間開発による物流施設の立地を促進

【市内において物流総合効率化法を活用し物流施設を立地した件数(市街地調整区域内のみ)】

立地決定年度	立地件数	うち市補助対象件数
26	2	—
28	4	—
30	1	1

開発指導課より情報提供(令和2年3月末時点)

資料⑨ 企業用地（空港南産業団地について）

整備の経緯 【平成2年度～令和元年度】

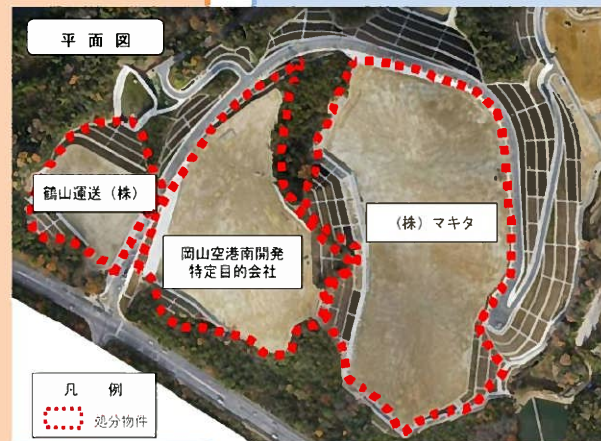
- 平成2～5年度
県営産業団地（第2リサーチパーク）として、用地を取得（県）
 - 平成6年度
バブル崩壊後の景気低迷により、事業凍結（県）
 - 平成25年(2013年)11月21日
知事と市長の懇談会
県南全体で企業用地が不足する中、県所有の未利用地であった北区富吉地区の元第2リサーチパーク用地の開発について、大森市長が早期の事業着手を伊原木知事に提案
- ↓
- 産業団地整備に向けて動き出す**
- 平成27年(2015年)5月11日
空港南産業団地の開発に伴う協定書締結
県：団地全体の造成工事、市が施工する以外の施設
市：団地開発に係る道路、上下水道の整備及び完成後の維持管理
 - 平成28年(2016年)2月3日
空港南産業団地地区計画の告示
 - 平成28年(2016年)3月28日 開発申請
平成28年(2016年)5月9日 開発許可
⇒ **産業団地整備に着手**
 - 平成31年(2019年)3月 工事完了
令和元年(2019年)5月 開発完了（検査合格）
- ↓
- 産業団地整備完了**

分譲の経緯 【平成30年度～令和元年度】

- 平成30年(2018年)11月16日
知事と市長の懇談会
空港南産業団地の分譲に係る公募について記者発表
・用地の概要
・公募のスケジュール
- 平成31年(2019年)1月24日～5月17日
買受申請受付
- 平成31年(2019年)1月30日・2月8日
現地説明会（13社参加）
- 令和元年(2019年)5月21日
申請状況についてのプレスリリース
1号地：2社、2号地：1社、3号地：2社 計5社からの申請
- 令和元年(2019年)8月23日
市長定例記者会見（同日、知事定例記者会見）
立地企業3社を公表
1号地：鶴山運送(株)
2号地：岡山空港南開発特定目的会社
3号地：(株)マキタ

【売買契約】

- 令和元年11月1日：鶴山運送(株)
 - 令和元年12月20日：岡山空港南開発特定目的会社
 - 令和元年10月3日：(株)マキタ
- ※2号地、3号地の契約については、県議会の議決が必要



資料⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（企業活動等への影響調査）

6. 新型コロナウイルス感染症拡大により、今年の4月の売上が昨年同期と比較してどの程度影響が出ていますか？（1つ選択してください。）

回答	選択人数	%
(1)10%減少	13人	5.2%
(2)20%減少	17人	6.8%
(3)30%減少	14人	5.6%
(4)40%減少	23人	9.2%
(5)50%以上減少	164人	65.6%
(6)影響なし	15人	6%
未回答	4人	1.6%



- (5)50%以上減少 65.6%
- (4)40%減少 9.2%
- (2)20%減少 6.8%
- (6)影響なし 6.0%
- (3)30%減少 5.6%
- その他 6.8%

（資料）市ホームページでのアンケート

中小企業・小規模事業者の皆様にご4月20日（月曜日）から4月30日（木曜日）まで実施

【岡山市の観光業の概況】

資料① 全体の旅行行程と岡山市の滞在期間

資料② 岡山市に関する認知度

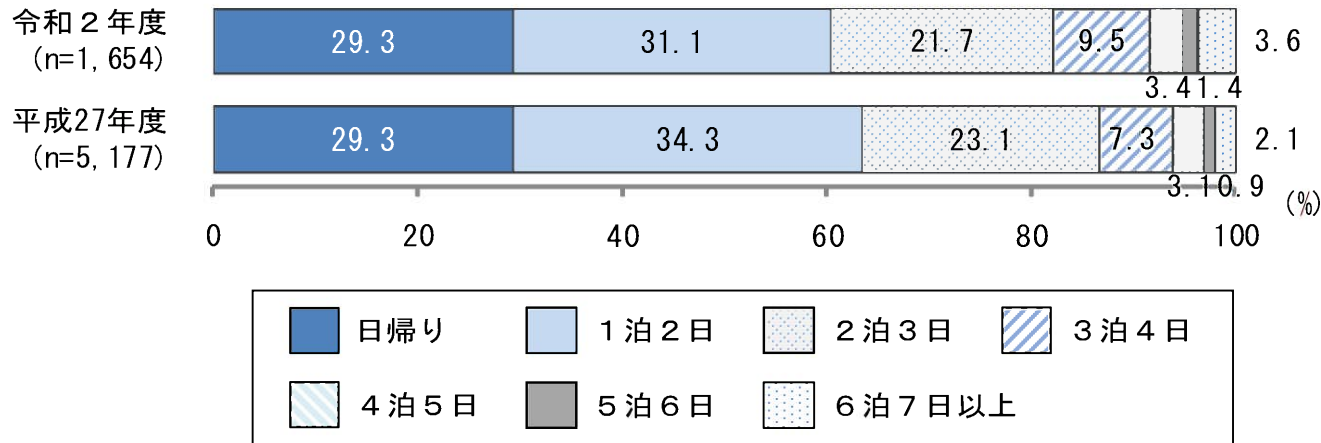
資料③ 岡山市実宿泊者数

資料④ 岡山城天守閣 入場者数（月別）

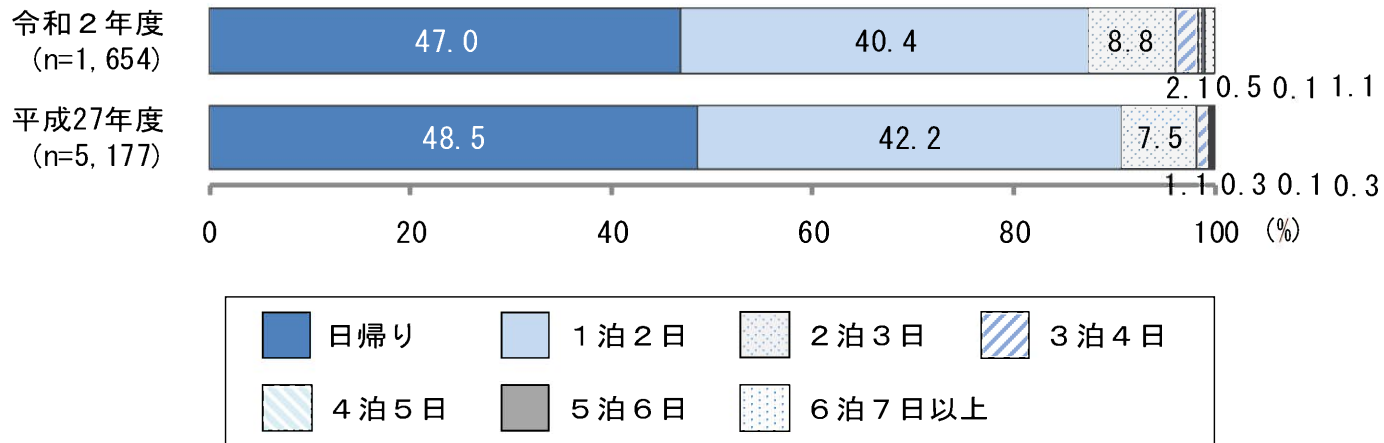
資料⑤ 岡山市のコンベンション開催状況

① 全体の旅行行程と岡山市の滞在期間

【全旅行期間】



【岡山市の滞在期間】



岡山市の滞在期間については「日帰り」との回答が最も高い

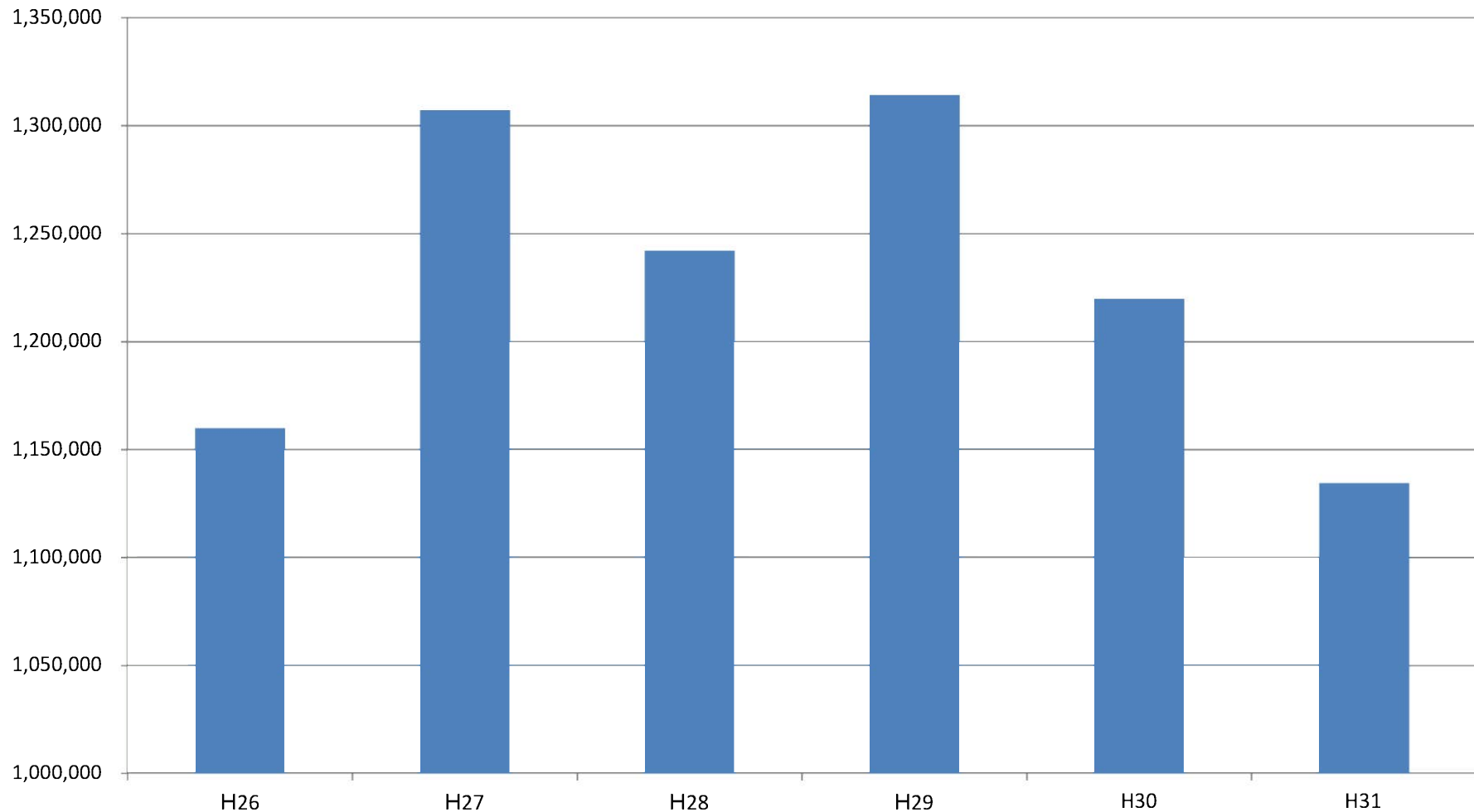
② 岡山市に関する認知度

プロモーション・MICE推進課

	(人、%)	
	令和2年度	平成27年度
全体	614	1,038
後樂園	38.3	44.0
岡山城	25.2	27.1
岡山県立美術館	3.6	3.0
岡山県立博物館（後樂園正門前）	1.3	1.1
岡山市立オリエント美術館	2.3	1.9
林原美術館	2.3	4.9
夢二郷土美術館	3.3	4.5
西川緑道公園	0.5	0.6
表町商店街	1.6	1.3
岡山シンフォニーホール	1.6	1.8
岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）	1.6	1.2
シティライトスタジアム（旧カンコースタジアム）	0.7	0.1
ジップアリーナ（旧桃太郎アリーナ）	1.1	0.9
池田動物園	3.7	4.3
コンベックス岡山	2.3	4.2
吉備津神社	5.9	5.2
吉備津彦神社	3.4	4.2
最上稲荷	4.1	5.3
吉備高松城址	1.8	4.8
旧足守藩侍屋敷・近水園・木下利玄生家	0.2	0.8
造山古墳	0.3	0.5
RSK バラ園	2.0	2.8
西大寺観音院（はだか祭り会場）	1.3	2.5
西大寺五福通り（ALWAYS～三丁目の夕日～ロケ地）	0.5	0.8
犬島製錬所美術館・ビーチ・キャンプ場	0.3	0.1
キリンビアパーク岡山	1.5	1.5
岡山市サウスビレッジ	0.7	0.3
温泉（たけべ八幡温泉、苫田温泉、粟井温泉、湯迫温泉、稲荷山温泉）	4.2	3.9
その他	0.7	0.7
特にない	47.4	42.2

岡山市内の観光施設・スポットについて岡山城・後樂園に比べ他の地域は認知度が低く、「特にない」との回答が47.4%を占める

令和2年6月実施
岡山市観光客動向アンケート調査

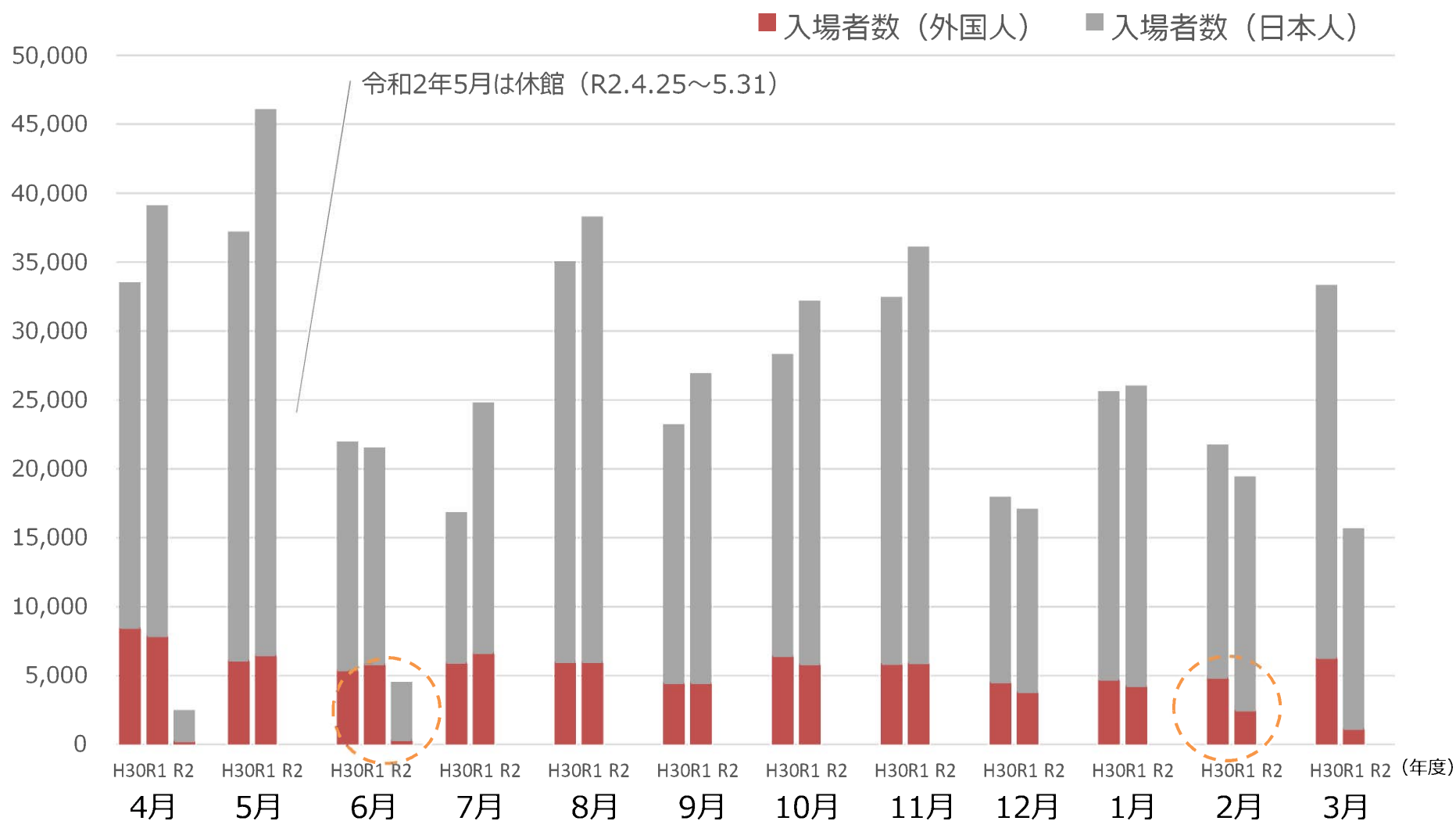


岡山市内の実宿泊者数は、豪雨災害等の外部要因の影響もあり減少している

観光庁宿泊旅行統計調査

④ 岡山城天守閣 入場者数（月別）

観光振興課

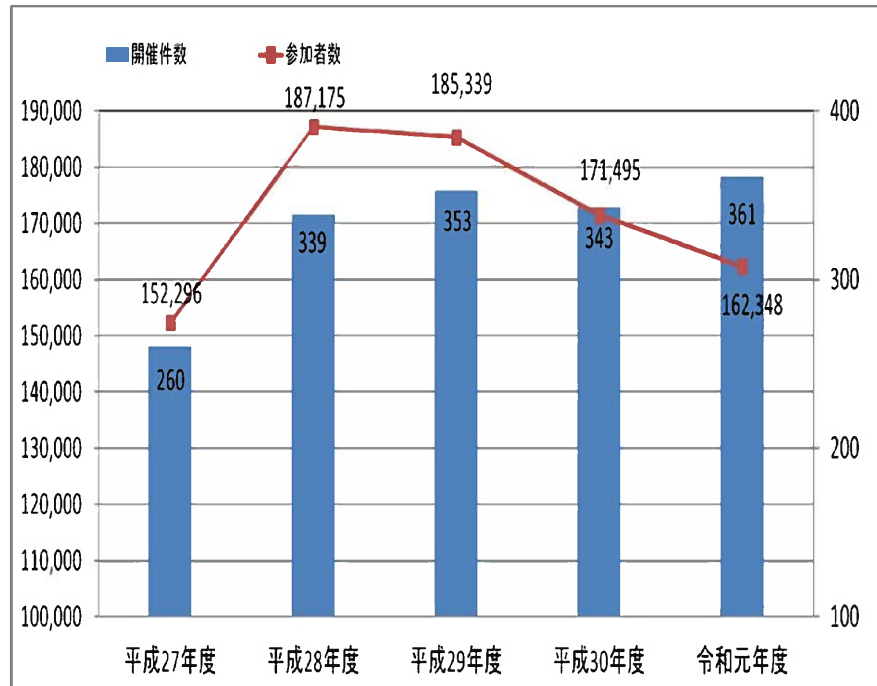


**新型コロナウイルスの影響により、R1年度2月より外国人が減少
臨時休館（4/25～5/31）後の6月は前年比21%**

⑤ 岡山市のコンベンション開催状況

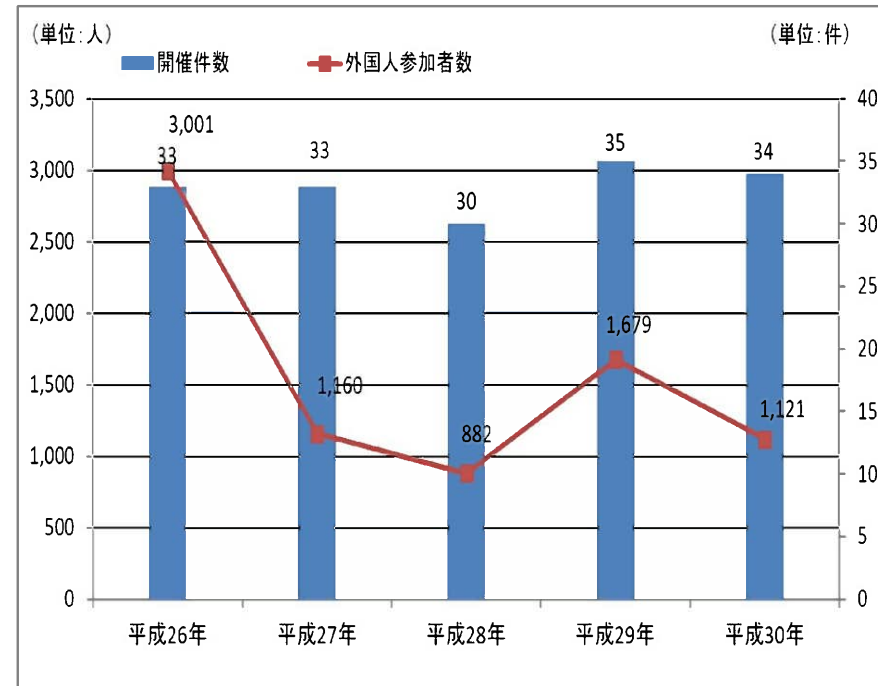
プロモーション・MICE推進課

◆過去5年間の開催状況の推移(年度)



出典：(公社)おかやま観光コンベンション協会調べ
(中国地区以上の規模で開催期間1日以上、参加者が概ね100人以上の大会)

◆過去5年間の国際会議開催実績(暦年)



出典：日本政府観光局(JNTO)国際会議統計

- ◆コンベンションの開催状況については増加傾向にあるが、平成30年西日本豪雨災害、新型コロナウイルス感染症等外部要因により参加者数、件数とも変動がみられる
- ◆国際会議の開催状況については横ばい

【岡山市の農林水産業の概況】

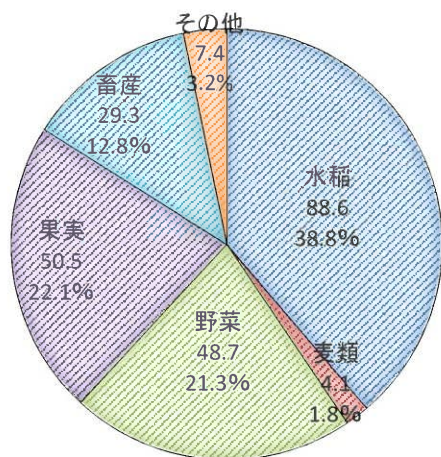
- 資料① 市内農業産出の状況
- 資料② 主要な農水産物の全国での位置づけ
- 資料③ 市内農地面積及び農家戸数の減少・耕作放棄地の増加
- 資料④ 農業者の変化・高齢化
- 資料⑤ 担い手の育成・農地の集約

農業産出額の推移

	H26	H27	H28	H29	H30
農業産出額（億円）	196.1	209.9	238.0	250.3	228.6

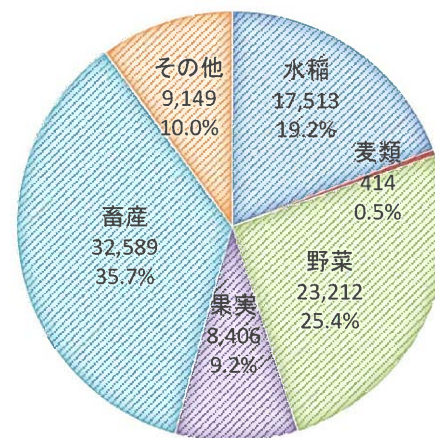
市町村全国：第57位

岡山市農業産出額(H30)



合計 228.6 (億円)

全国農業産出額(H30)



合計 91,283 (億円)

出典：市町村別農業産出額（農林水産省）

品目別農林産物生産量

	作付面積（h a）	全国順位	作付経営体数（戸）	全国順位
水稲（販売を目的）	6,918	19	6,352	3
大麦・裸麦	1,611	3	426	4
なす	31	11	342	25
もも	126	8	482	12
ぶどう	150	12	751	5
ノリ（養殖）	2,881（トン）			

出典：ノリのみ岡山県統計年報を基に算出、その他は農林水産省「市町村の姿」データ(2015)

岡山市もも・ぶどう栽培面積（h a）

	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
もも	121	121	114	111	113	111
ぶどう	132	129	124	107	103	104

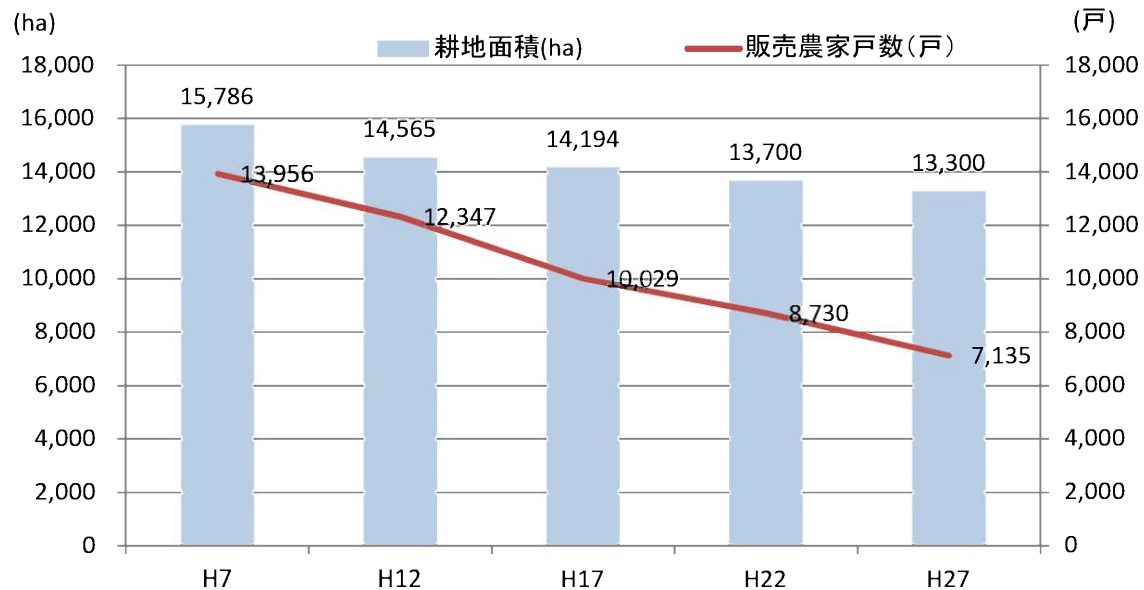
出典：農林水産課調べ

岡山市水稲栽培面積（h a）

	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0
水稲	8,530	8,440	8,080	8,010	7,930	8,110

出典：農林水産省「市町村別統計」データ2019

岡山市の農地面積と農家戸数の推移



出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

耕作放棄地の推移

	H 1 7	H 2 2	H 2 7
耕作放棄地 (h a)	1,294	1,321	1,530
(耕作放棄地率)	10.2%	10.8%	12.9%

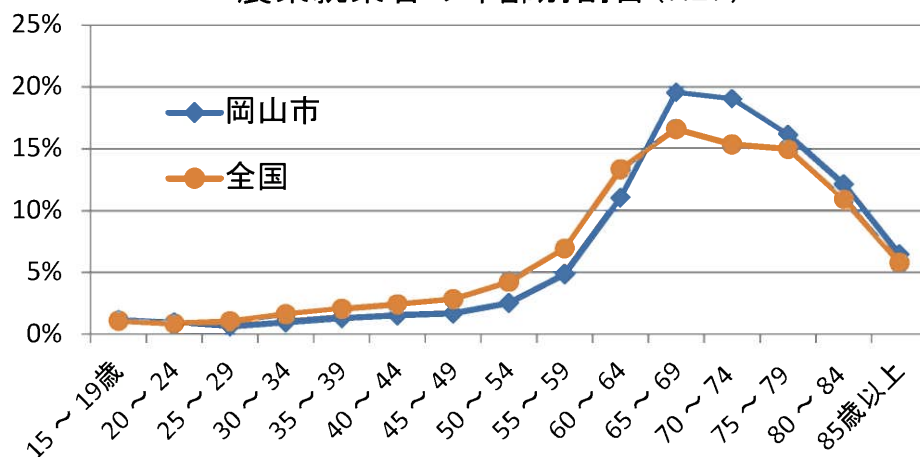
出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

農業者の様態別の状況

	単位	H22	H27	全国順位	備考
総農家戸数	戸	12,691	10,753	5位	経営耕地面積が10a以上又は過去1年間の農業生産物の総販売額が15万円以上
販売農家	戸	8,730	7,135	4位	経営耕地面積が30a以上又は前1年間における農産物販売金額が50万円以上
主業農家数	戸	1,052	710	64位	農業所得が主(農業所得 \geq 農外所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる
準主業農家数	戸	1,784	989	20位	農外所得が主(農業所得 $<$ 農外所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる
副業的農家数	戸	5,894	5,436	1位	1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない
農業就業人口	人	11,410	10,083	7位	自営農業に従事した世帯員(農業従事者)のうち、調査期日前1年間に自営農業のみ又は自営農業が主の者

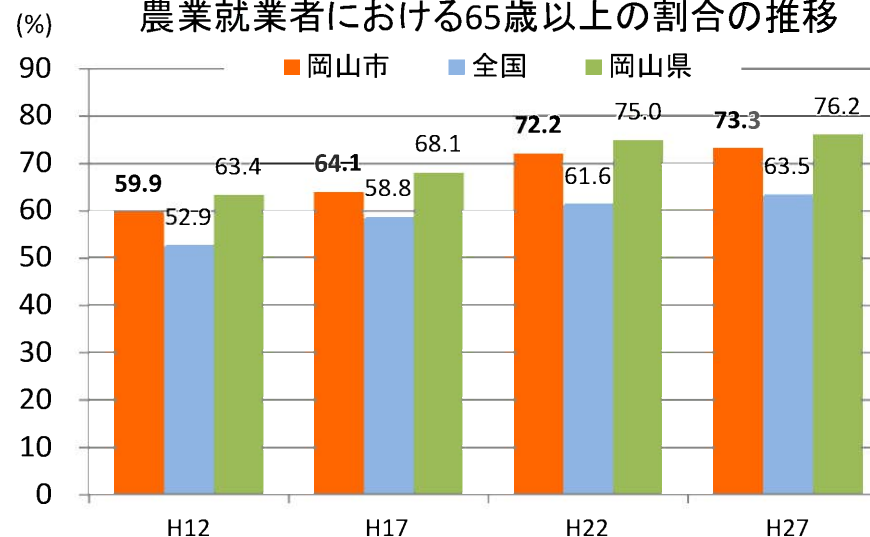
出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

農業就業者の年齢別割合(H27)



出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

農業就業者における65歳以上の割合の推移



出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

資料⑤ 担い手の育成・農地の集約

認定農業者の推移

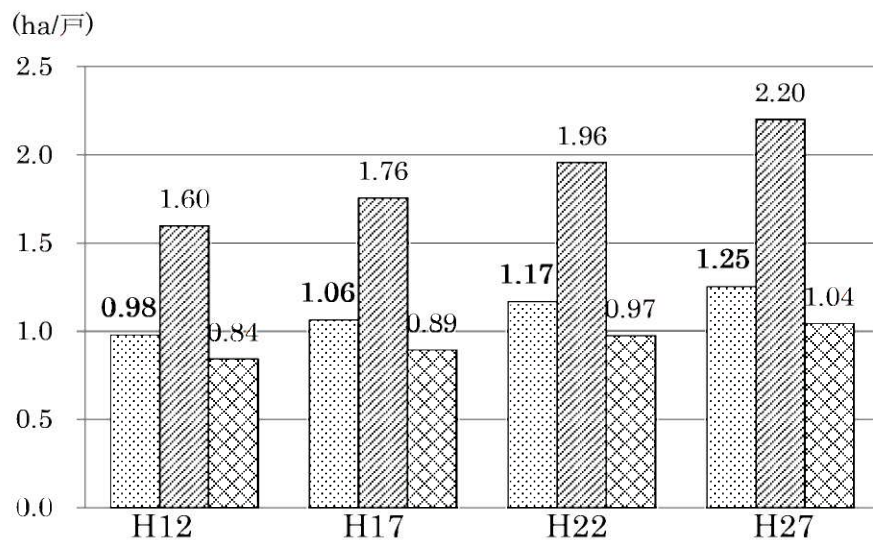
	H27	H28	H29	H30	R元
認定農業者（人）	665	661	661	665	653

新規就農者数

出典：農林水産課調べ

	H27	H28	H29	H30	R元
新規就農者数（人）	27	30	29	32	34

販売農家1戸当たり面積の推移

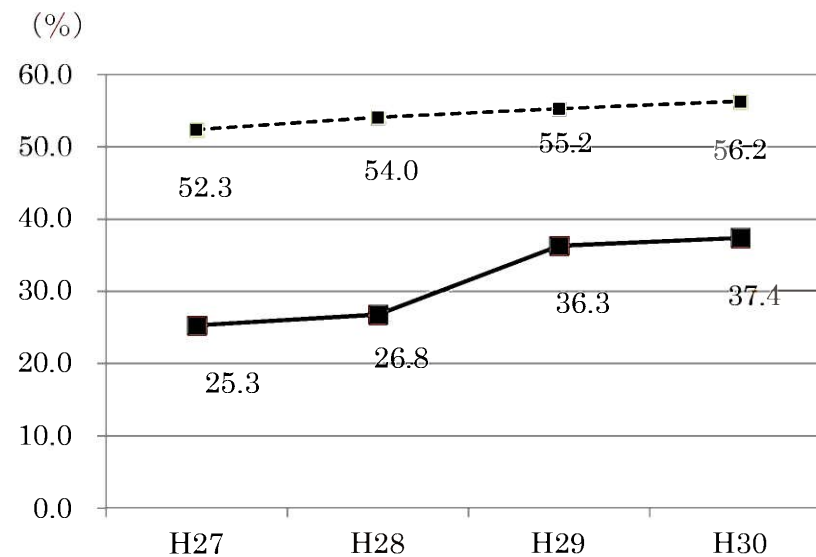


■ 岡山市 ■ 全国 ■ 岡山県

出典：2015農林業センサスを元に岡山市で作成

出典：農林水産課調べ

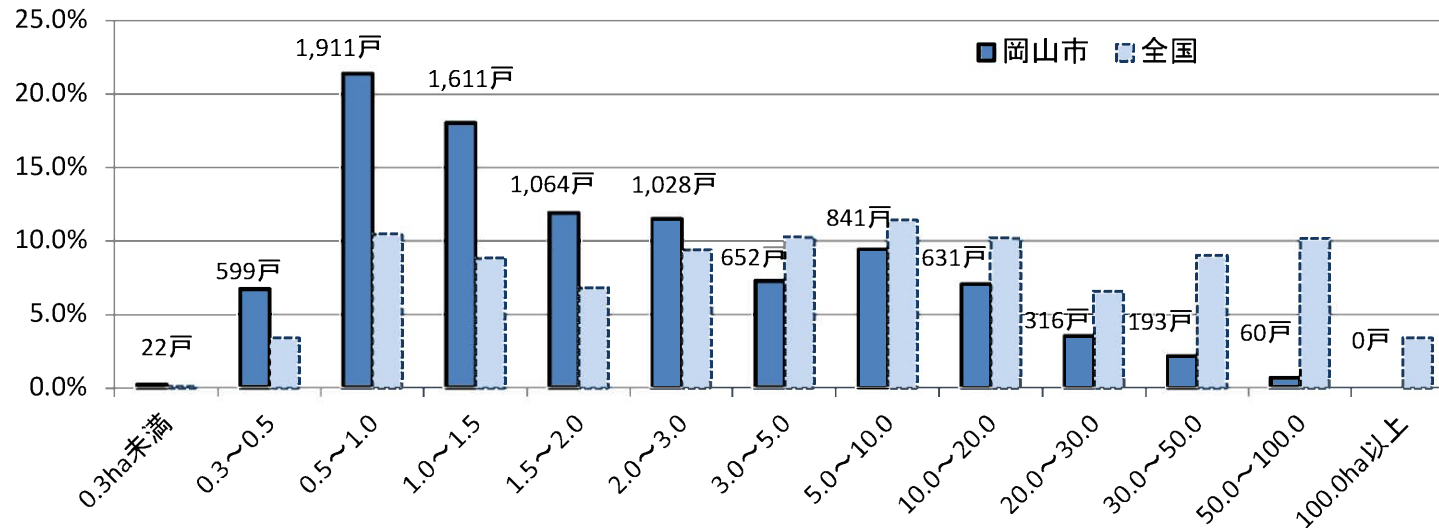
担い手への農地集積率



■ 岡山市 ■ 全国

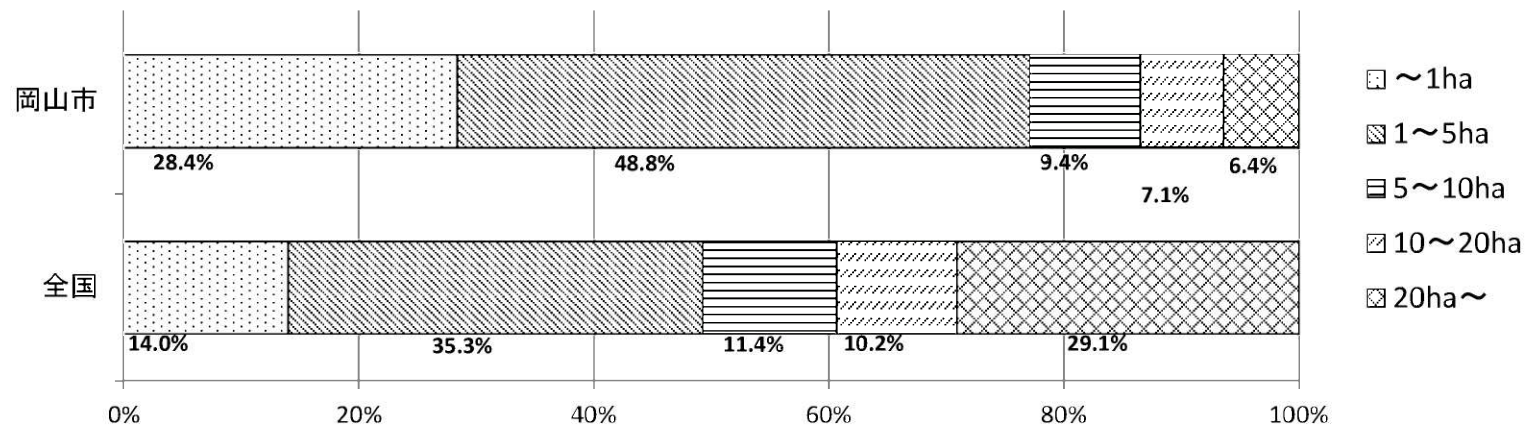
出典：農林水産課調べ

経営耕地面積別の販売農家戸数 (H27)



出典: 2015農林業センサスを元に岡山市で作成

経営面積規模別の経営体による農地使用状況 (H27)



出典: 2015農林業センサスを元に岡山市で作成

